

モネはひとつの眼にすぎない。
しかし何という眼なのだろう。

—ポール・セザンヌ

モネ

連作の情景

CLAUDE MONET JOURNEY TO SERIES PAINTINGS

2024 2/10(土) ▶ 5/6(月・林)



大阪中之島美術館
INAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

5階
展示室

大阪中之島美術館へようこそ！私、クロード・モネの展覧会に来てくれて
どうもありがとう。5階展示室の作品はすべて、私の作品なんだよ。展示室には
約70点の絵が並んでいるよ。そのなかからキミの好きな1点を選んでほしい
んだ。さあ、準備はいいかな？クイズもあるよ。



イラスト:にしゆら

こども鑑賞ガイド



第5章

「ぼくの自慢の庭なんだ」



「睡蓮」とジヴェルニーの庭



《睡蓮》

1897-98年頃 ロサンゼルス・カウンティ美術館
Los Angeles County Museum of Art, Mrs. Fred Hathaway Bixby Bequest, M.62.8.13,
photo © Museum Associates / LACMA

モネは自宅の庭に池をつくりました。
その理由は？

- ① 花が好きな家族に頼まれたから。
- ② 年を取り、遠くへ出かけるのがつらくなったから。
- ③ 絵の題材にするため。

Bonjour

私の展覧会を楽しんでいただけましたか？

あなたの好きな1点は、どれにしましたか？

どうしてそれを選んだのか、おうちのひととお話ししましょう。

いつか、私のフランスの自宅に遊びに来てください。

Claude Monet



- Q1. ① 妻に居るのモネは、妻になるまで、手前の空席には新聞が置かれ、父・モネの存在が示されていると考えられます。
- Q2. ② 1800年代の中ごろまでは、絵はアトリエで描くものでしたが、チューブ入り顔料の登場で、外で絵を描くことができるようになり、絵に大きな変化が生まれました。
- Q3. ③ モネは同じ風景を、季節や天候、時間を変えて絵にすることに挑戦しました。その違いをよく見比べてみましょう。
- Q4. ④ モネは次男の屋敷先のロワントンをよく訪れ、箱舟先のホテルからテムズ川にかかるウオータータワー橋をスケッチしました。ロワントンを舞台にした連作でもっとも多いのが、ウオータータワー橋です。
- Q5. ⑤ モネは1890年に家と土地を買い、人工の池をつくりました。目的は絵の題材にするためでした。庭の睡蓮の花の絵を描き始めるのは1897年頃からです。この《睡蓮》の絵は最初に描かれた8点のうちの一つです。モネは睡蓮の絵をたくさん描き、その数は約300点にのぼります。



第1章

印象派以前のモネ

「20代の頃の作品が並んでいるよ」

1

《昼食》のテーブルの手前の空席はだれの席でしょう。

- イ クロード・モネ
- ロ モネのおかあさん
- ハ 友人のルノワール



初来白 《昼食》 1868-69年 シュテデル美術館 © Städel Museum, Frankfurt am Main



第2章

印象派の画家、モネ

「印象派と呼ばれるようになったんだ」



《モネのアトリエ舟》 1874年 クレラー=ミュラー美術館 © Collection Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands, photo by Rik Klein Gotink

2

モネはいろいろなところへ出かけて絵を描きました。舟の上でもよく描きました。それができるようになったのはなぜ？

- イ カンヴァス(画布)の質がよくなったから。
- ロ チューブ入りの絵の具ができたから。
- ハ 市民が自由に行動できるようになったから。



第3章

テーマへの集中

「同じ場所を何度も描いたんだ」

3

モネが同じ場所を何度も描いた理由は、何でしょう。

- イ 絵の注文があったから。
- ロ 家族が好きな場所だったから。
- ハ 季節や天候、時間の変化を描きたかったから。



《ラ・マンヌポルト(エトルタ)》 1883年 メトロポリタン美術館 Image copyright © The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY. Bequest of William Church Osborn, 1951 (51.30.5)



「“連作”の手法は僕が編み出したんだ」



第4章

連作の画家、モネ

モネがウォータールー橋を描いた連作は何点あるでしょうか。

- イ 21点
- ロ 31点
- ハ 41点



《ウォータールー橋、曇り》 1900年 ヒュー=レイン=ギャラリー Collection & image © Hugh Lane Gallery, Dublin